

## 平成 24 年度第 5 回北広島市市民協働推進会議 会議概要

日 時	平成 25 年 3 月 13 日（水）午後 6 : 30～	
場 所	市役所本庁舎 2 階会議室	
出席者	委員 (5 名)	朝賀委員、中林委員、大橋委員、竹村委員、井関委員
	事 務 局	岩泉企画財政部長、川口行政推進課長、及川主査、大原主査、杉山主査
	傍 聴 者	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 議題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「テーマ設定型方式」公益活動事業補助金のテーマの選定について</li> </ol> </li> <li>3 その他               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 次回会議の開催時期等について</li> </ol> </li> <li>4 閉会</li> </ol>	
配布資料		

## 1. 開 会

事務局：会議の成立を報告

会 長：只今より、平成 24 年度第 5 回市民協働推進会議を開催いたします。

## 2. 審議事項

会 長：それでは、審議事項「テーマ設定型方式公益活動事業補助金のテーマの選定について」事務局に説明を求めます。

事務局：事務局より説明させていただきます。

1 つ目のテーマであります「子育て家庭等を支援する事業」につきましては、前回会議におきましても事務局案として提案させていただきましたテーマでございます。

将来的に子供の人口減少が予想されている本市において重要な政策であり、子育て支援に関する知識・情報・経験を有する公益活動団体から新たな子育て支援策等を提案してもらい、行政と協働で子育て支援を推進していくことは、本市にとって有益であると判断し、提案させていただきました。

尚、想定されます提案としましては、子育てに関する情報の提供やメールによる会員同士の情報交換の場の運営、子育て家庭の育児に対する不安等の解消を図るために、子育てに関する知識や経験が豊富な人材を派遣する活動、父親の子育て参加への動機づけを行うことを目的とした「子育てサロン」の運営、子育て中の親を対象とした「料理教室」の企画運営や食育指導などが想定されるものと考えており、募集の際に例示し、応募者に配慮したいと考えております。

2 つ目のテーマであります「にぎわいの創出や魅力づくりに寄与する事業」につきましては、前回会議におきまして、「事務局案には総合計画重点プロジェクトの内、「にぎわい・魅力プロジェクト」に関するテーマが設定されておらず、賑わいや活気を呼び込む、若い世代を巻き込む事業の提案が見込めるテーマの設定があっても良いのではないか。」とのご意見をいただきましたことから、事務局内で検討いたしました結果、「にぎわいの創出や魅力づくりに寄与する事業」を設定テーマとして新たに設けることといたしました。

尚、想定されます提案としましては、にぎわいを創出するために行うイベントの開催、チャレンジショップ（学生チャレンジショップも含む）の運営、市のイメージアップにつながるオリジナル商品の開発、滞在型観光周遊コースの企画設定や体験型観光プログラムの開発などが想定されるものと考えております。

3 つ目のテーマであります「安全・安心なまちづくりに寄与する事業」につきましては、前回会議におきまして、「災害に強いまちづくりに寄与する事業」として提案させていただきましたが、前回会議におきまして「環境保全・エコに光をあてた事業の提案が見込めるテーマの設定があっても良いのではないか。」とのご意見をいただきましたことから、事務局内で検討いたしました結果、防災に特化せず、「住みたくなる地域地域づくりプロジェクト」に関連し、テーマを「安全・安心なまちづくりに寄与する事業」とすることにいたしました。

尚、想定されます提案としましては、自主防災組織等が行う防災意識啓発や人材の育成のための活動、地域の防犯力を高める活動、交通弱者である子供や高齢者に対し交通安全意識の浸透を図る活動、クリーンエネルギーの普及啓発活動などが想定されるものと

考えております。

また、広報・ホームページ等で市民等に周知する際には、「想定される提案事業例」では固い表現になってしまいますことから、「例えば」子育てに関する情報の提供やメールによる会員同士の情報交換の場の運営などのように平易な表現を用いたいと考えております。

尚、来年度募集終了後の事業採択の段階におきましては、参考資料として「協働推進会議の設置目的」「協働指針における協働の定義」などを抜粋のうえ2ページに掲載させていただきましたが、その理念に沿って、単純に事業名が例として挙げた想定事業例と「一致しているか、していないか」などで判断するのではなく、あくまでも団体が実施しようとしている事業内容が、テーマに合致し、真に市と公益活動団体が共通する公益的課題の解決や社会的目的の実現のために協力・協調して行っていくべき事業であるかにつきまして、プレゼンテーションなどを通してご判断いただき、最終的に市民協働推進会議として補助金採択すべき協働事業であるか否かを御判断いただきたいと思いますと考えております。

以上でございます。

ご審議のほどよろしくお願い致します。

会 長：只今の事務局からの説明に関しまして、意見や質問はありますか。

A委員：安全・安心なまちづくりに寄与する事業の例にクリーンエネルギーの普及啓発活動とありますが、事務局としてはどのようなイメージを持っているのでしょうか。

事務局：太陽光発電システムと蓄電池の活用、小水力発電などをイメージしています。

A委員：循環型エネルギーと解釈してよろしいのでしょうか。

事務局：そのとおりです。

A委員：それであれば、誤解が生じないようにクリーンエネルギーではなく、循環型エネルギーの普及啓発活動としてはいかがでしょうか。

事務局：応募する際にはそのように改めたいと思います。

B委員：子育て家庭等を支援する事業の事業例を見ると、乳幼児を育てる家庭支援に特化しているように見えるのですが、児童を育てている家庭は対象としないと、考えてのことなのでしょうか。

事務局：そういう意味ではありません。あくまでも例として示したものが主に乳幼児を育てる家庭を対象とした事業になってしまいましたが、児童を育てている家庭を支援する事業は対象としないとの考え方は持っていません。

B委員：そういうことであれば、一つぐらい児童を育てている家庭を支援する事業の例を挙げておいたほうが、良いと思います。

事務局：児童を育てている家庭を支援する事業例を事務局において検討し、募集の際には例示に加えたいと思います。

会 長：他に意見や質問はありますか。

委 員：ありません。

会 長：それではお諮りいたします。

審議事項「テーマ設定型方式」のテーマの設定については、事務局案どおりでよろしいでしょうか。

委 員：よろしいです。

会 長：以上で本日の議題である「テーマ設定型公益活動事業補助金のテーマの選定に関する審議」を終了いたします。

その他事務局から次回会議開催時期等に関して、委員の皆さまにお伝えすることはありますか

事務局：次回会議の開催につきましては、前回会議におきまして御了承いただいておりますとおり、3月26日（火）に開催させていただきたいと考えております。

ご審議いただく内容といたしましては、前回会議、また、本日会議においてご審議いただいた補助金制度の改正内容、設定テーマをもとに事務局の責任において要綱、要領などを整理し、25年度補助金応募の手引き等につきまして、ご審議のうえ承認いただきたいと考えております。

事務局からは以上です。

会 長：それでは次回会議は3月26日（火）午後6時30分から開催します。

これで平成24年度第5回市民協働推進会議を終了します。

皆さま大変お疲れさまでした。

会議録署名委員 \_\_\_\_\_